

令和2年度 社会福祉法人よしだ福社会 事業経営計画

1. 基本理念

地域のみなさまに必要とされ、地域に根ざした施設を目ざします

2. 基本原則

- ① 利用者の皆様の基本的人権を尊重し、それぞれの個性を大切にします。
- ② 地域社会とのつながりを大切にし、地域の皆様から必要とされる施設を目指します。
- ③ 利用者の皆様の満足が職員の満足となり、職員の満足が施設の満足となる法人づくりを目指します。

3. 取り巻く情勢

令和元年度は、よしだ福社会の25周年記念事業も終わり、平成28年から始まったスリーポート連携事業も3年間の事業を終え、成果物として「ゆめ・ひと・つながり手帳」が完成しました。

今年度からは、この手帳を活用しサービス利用者の個別支援を充実させるとともに、自分の人生設計を健康というキーワードをプロデュースできるよう、緩和事業として「シルバー大学」を再開し、住民の方の健康長寿に寄与するばかりでなく、ボランティアの育成にも取り組んでいきます。

職員の人材育成としては、今年度から介護職員初任者研修事業に雲南広域連合からの助成を受け、広く雲南市、奥出雲町、飯南町をエリアに資格取得支援・福祉人材育成をスタートさせると同時に、令和3年度から初任者研修の次のステップである実務者研修も当方人で開講できるよう準備を進めていきます。

また、平成20年に事業を開始した「とちのみ」に関しては、施設の老朽化も進み浴室等の改修が必要な状況となっています。この施設改修に関しては関係機関との調整を早急にすすめ、環境の改善に取り組んでいきます。

部門別事業経営計画 <施設部総括>

【目標】

基本理念、基本原則に基づきながら、ご利用者やご家族、そして地域の皆様が、よしだ福社会のサービスにご満足頂けるよう、その役割を認識し、役職員一丸となって法人経営に取り組みます。

各サービスの実施においては、各加算等の解釈を全体で共有しながら、利用者の満足とサービスの質の向上が図れるようコンプライアンスの推進を行うとともに、職員全体の処遇改善を図っていきます。

【基本方針】

1. 基本的人権を尊重し個性を大切にサービスを提供
個別援助計画を見直し、コンプライアンスの確立と質の向上を図る
2. 地域づくりに積極的に参画する
シルバー大学を再開し、健康長寿の地域づくりと地域で活躍できるボランティアを育成する
3. 職員の人材育成
研修事業や目標管理、スキルアップ研修、キャリアアップ研修等で計画的に人材の育成を図る
4. 経営改善に関する事業
施設の整備を含めた経営計画を作成し、持続可能な法人経営に取り組む